SDGs新聞	株式会社 明治

ベトナム社会主義共和国　高品質なカカオを、研究開発。

SDGsラジオを読んでみよう！

おいしいチョコレートをつくるのに、大切なものってなんだと思いますか？
それは、高品質なカカオと、さらなる質を追いかけ続ける農家さんの情熱です。
食品会社の明治は、チョコレートに留まらないカカオの可能性を追求するために、世界中にある産地でさまざまな研究と支援活動に取り組んでいます。
ベトナム社会主義共和国では、専門の研究スタッフが現地を訪れ、農家さんと試行錯誤を繰り返しながら、お客さまの健康に貢献するためのカカオ研究に取り組んでいます。
カカオポリフェノールを多く含むカカオ豆の生産が増えれば、世界中から産地に注目が集まり、農家さんがどんどん豊かになります。
高品質なカカオには、カカオ生産者も消費者も、地球そのものを変えていくチカラがあります。
もちろん、「新たなカカオ製品を知る」ことも、このサイクルにとって重要なアクション。
活動を知って、誰かに伝え、カカオ生産地を支える輪を広げるのもステキですね。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！

ベトナム社会主義共和国（以下「ベトナム」）は、東南アジアのインドシナ半島東部に位置する、面積約33万㎢（日本よりやや小さい）・人口約1億人の国です。第二次世界大戦後、内戦により長期間にわたって南ベトナムと北ベトナムに分断されていましたが、1976年にようやく南北統一を果たし、現在のベトナムが成立しました。国内の主な産業は農業・鉱工業に加え、近年は観光収入が大きく増えています。また経済の自由化を促進する「ドイモイ政策」により、日本からの企業進出も相次ぐようになり、現在では日系企業の重要な海外生産拠点のひとつになっています。

育成中の苗木／ベトナムのカカオ農家イメージ
（明治公式HPより）

明治はベトナムで「カカオの生産」を支援するために、「メイジ・カカオ・サポート」という取り組みを2006年からはじめました。これは、高品質なカカオを生産し続けられるよう、カカオ農家を支援するための取り組みで、専門のスタッフが西アフリカや中南米、アジアにある産地を訪れて、現地が抱えるさまざまな課題に合わせた支援を行っています。ベトナムに向けては、「カカオの価値を引き出すための研究開発」を推進しており、たとえば、多くの健康効果が期待されている、カカオポリフェノールを豊富に含んだカカオの生産に向けた研究に取り組んでいます。また、より自然に近いカカオ農園づくりをめざす取り組みとして、「緑地を増やしていくためのカカオの苗木」を寄贈しています。このように、農家のみなさんが高品質なカカオを安定的に生産できるよう支援を進めることで、SDGsの達成に向けて貢献しています。

キーワード

インドシナ半島

中国の南にある東南アジアの半島で、ベトナム・カンボジア・ラオス・タイ・ミャンマーの5か国が含まれています。

ドイモイ政策

ドイモイとは、「刷新」という意味のベトナム語で、1986年から実施された「国内経済の成長を促す政策」のことです。

カカオポリフェノール

カカオに含まれる化合物で、血圧低下・動脈硬化予防・脳の活性化などに効果があるといわれています。

みなさんにできること！

ベトナムが抱えている問題に目を向け、さらに理解を深め、なにができるか考えていきましょう。

おさらい

- ベトナムは、日系企業の重要な海外生産拠点のひとつになっている。
- カカオポリフェノールを豊富に含むカカオの生産に向けた研究に取り組んでいる。
- カカオの苗木を多く寄贈することで、自然に近いカカオ農園づくりをめざしている。

メモ

SDGsラジオ